①秋の蝉 【今回の兼題】



名月や欲望果てぬ人の業

迪

子

落ち栗のクスクスクスと秋日和

○野菊揺れもう許そうかあの言葉

百日紅教会の前の立ち話

閉店へぶどう一房食べ尽くし

秋蟬や夕食黙々老ひとり

夕焼けに染まる川岸赤とんぼ

え

異次元へ引き戻しけり法師蝉

鬼百合の田舎臭さはうつむけ

IJ

文

〇つくつくしいのち全うハルウララ 秋暑し十年の梅干食べ尽くす

一眠り欠けたる月を仰ぎけり

流れよむ猛りの鵙や岸辺枝

農

子

暑い朝背を押される鵙の声

厨房の虫の音抑さえつくつくし

Ⅴ友はもうこの村に居ぬ法師蟬

爪たてば香はほとばしる青蜜柑っぽ

〇一時の雨にこぼれて葛の花

高い空姉葬送の朝の虹

〇いわし雲枝を上手に友来たる

初

江

0

「国宝」のラストページを閉じて秋

過去帳に記す兄の名鵙日和

鴨部城跡の神木つくつくし

丞

子

○かなかなの森に小さな露天風呂

百余年の母の人生生身魂

半額の朝顔みごと風軽し

生き返る森羅万象彼岸花

〇秋蝉や一茶最期の蔵に佇つ

○友の忌や面影むすぶ萩の花

難民の頭上に曇る銀河かな

瑞

子

(岡)

〇祖母が居る棚田のあぜ道彼岸花

空高く鳴き声高く鵙日和

初盆や娘三人残し逝く

郁 子 (\pm)

〇靴音の乾きし響き月天心

勝ち誇る鵙の高鳴き一直線

〇エイヤッと断捨離決行鵙日和

人間も勢力競う鵙高音

○秋蟬や母の遺品のそこかしこ

紀

美

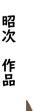
綾

子

〇村一つ飲み込みダム湖秋の蟬

一夜明け街は秋色風白し

ゴミ出しの足を誘える秋の風



味元

鵙一羽一村を統ぶ空は青

従兄弟また逝った逝ったと秋の蝉

志津子

百舌鳥の尾のぴこんぴこんと総裁選

★次回市民句会

【開催日時】

富

令和七年十月二十二日 (水)

午後一時十五分~午後四時(予定)

【場所】

鳴き声で鵙かと思う城歩き

秋蝉や生命終らせ天仰ぐ

オーテピア4階 研修室

【兼題】

千

① すすま ②烏瓜

(他の題材でも構いません)

【初めての方へ】

スケボーは風切り刻み鰯雲

泥こそげ墓の写メー

ル鵙の声

どなたでも自由にご参加いただけます。 市民句会は、 俳句愛好者の集いです。

事前申込や参加費は不要です。

